

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 3 年 6 月 23 日 (水) 17 時 40 分～18 時 10 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道の感染状況については、本日までの直近 1 週間の新規感染者が 389 人、10 万人あたり 7.3 人まで減少している。札幌市についても 10 万人あたり 14.4 人となり減少が続いている。全道の入院患者も今月に入り減少しているが、6 月 22 日時点で 747 人と引き続き高い水準となっている。 ● 人流については、札幌市内では 6 月に入ってから昼夜共に増加傾向にあり、すすきの駅周辺については、特に夜間の人流が増加しており、注視が必要な状況である。(以上、総政) ● ワクチンについては、職域接種と大学拠点接種が順次始まっているが、職域接種の新規申請が 25 日で一時休止するとの情報があり、この後予定される河野大臣の会見など情報収集したい。(保福) ○ 6 月 21 日からまん延防止等重点措置に移行した。感染状況は大きく改善してきているが、この傾向を継続させていくことが必要。特に、措置区域としている札幌市については、引き続き徹底して対策に取り組んでいくことが必要。 ○ ワクチンについては、職域接種の申請受付一時中止に関する情報を収集し、企業等に混乱が生じることのないよう適切な対応をしてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年6月24日(木) 10時40分～11時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について、本部会議に報告することとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道の感染状況等について、有識者、専門家等からは概ね妥当との意見をいただいている。その際、「札幌市内の高齢者施設のワクチン接種が7月には終了できそうであり、それまでは厳しい措置でリバウンドを防ぐべき」「職域接種について、申請受付の休止が示されるなど流動的であるが、タイムリーな情報提供と企業への支援をお願いしたい」「人流の活発化が予想され、感染再拡大の兆しが見られた場合には速やかに必要な手立てを講じる必要がある」「10～30代の割合やリンク無しの割合が増加傾向にあり、引き続き、感染対策の呼びかけをお願いしたい」「飲食店への時短要請では人数を抑えることや飛沫を飛ばす機会を減らすことなど注意喚起をお願いしたい」といった意見が寄せられている。こうした意見については、今後の対策に活かしていく。(総政) ● ワクチンについては、職域接種の新規申請受付は明日の17時で一時休止、自治体の大規模接種に係る新規申請については直ちに休止とされた。ホームページにお知らせを掲載するほか、経済団体などに情報提供するなど対応している。(保福) ○ デルタ株について、国内でも7月に7割、8月には9割置き換わるとする専門家もあり、最大限の警戒をしていく必要がある。しっかりと気を引き締め、7月11日までの間、まん延防止等重点措置に基づく徹底した対策に取り組んでほしい。 ○ ワクチン接種について、道内企業に混乱が生じることがないように、また、市町村の大規模接種に影響を及ぼさないよう、今後の見通しなど情報収集を行い、ワクチンの供給など国に求めていかななくてはならない。引き続き、市町村等に対するきめ細かな支援を行い、万全の対策で臨んでほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年7月1日（木） 19時00分～19時30分
場 所	議会知事室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、保福部長、コロナ監、経済部長、 政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道の感染状況等については、減少傾向が続いており、本日までの直近1週間で10万人あたり4.4人、札幌市も同様に減少傾向が続いており、10万人あたり8.2人となっている。一方で、感染拡大の先行指標とされるリンク無しの割合や若い世代の新規感染者の割合が増加しており、注視が必要である。 ● 全道の入院患者数も減少が続いており、昨日現在で425人、重症患者数も減少傾向となっている。札幌市内においても医療提供体制は改善傾向が続いているが、国のステージⅢの目安を上回っている。 ● 人出の状況については、札幌市内で日中・夜間ともに増加傾向が継続しており、特にすすきの駅周辺の夜間で急増しており、まん延防止等重点措置前と比較すると4割以上増加している。（以上、総政） ● ワクチン供給の状況については、職域接種の新規申請受付の一時休止などが示されているが、道からは国に対して6月29日に今後の手続や見通しなどについて早急に対応方針を示すよう要望したところ。 ● 国は9月末までに希望する国民へ接種する量のワクチンを確保できる見通しとしているが、現時点で詳細なスケジュールは示されていない。高齢者向けは既に確保されているものの、一般分は一部自治体で予約受付を一時休止するなど影響が出る可能性がある。（以上、保福） ○ 札幌市内における感染経路不明割合や人流が増加するなど感染拡大の予兆とされる指標が悪化している。感染のリバウンドに対する警戒が必要。引き続き、全道で対策を徹底し、特に札幌市と連携し、市内の対策を徹底してほしい。 ○ ワクチン接種については、国との連携が重要であり、引き続き、積極的に情報提供を行いながら、必要に応じて機動的に要望を行うなど、しっかりと市町村や企業等の皆様をサポートしてほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年7月2日（金） 13時10分～13時40分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、総政部長、コロナ監、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議に報告することとした。</p> <p style="text-align: center;">〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況等の認識について、有識者、専門家等からは概ね妥当であるとの意見をいただいている。 ● その他、「道外からの移動が活発になれば状況が悪化するので注意が必要」「デルタ株の感染拡大が懸念され、検体検査の継続と状況の把握をお願い」「今後人の往来が増えることが予想されることから、ワクチン接種を進めるとともに、引き続き感染防止対策を取ることが重要」「感染経路不明は把握できていないだけの可能性もあるので丁寧な聞き取りを進めてほしい」「高齢者へのワクチン接種を強力に進めるべき」「ワクチン供給に関する具体的なスケジュール等を速やかに示すよう国に申し入れていただきたい」といったご意見があった。こうしたご意見については今後の対策に活かしていく。（以上、総政） ○ デルタ株は従来株の1.95倍の感染力があるとも言われており、危機感を持った対応が必要。引き続き、スクリーニング検査をしっかりと行った上で、デルタ株が確認された場合は速やかな情報提供を行い、感染防止行動の徹底を図ってほしい。 ○ これまで道内で確認されたデルタ株の疑い事例は道外で感染した可能性が高い。関東地方ではデルタ株が30%を占めるとの調査もある。本道は他都府県との往来が活発であり、影響を受けやすい環境にあることが懸念される。 ○ また、東京の新規感染者数が国のステージⅣの目安を超えるなど、感染も拡大している。道民の皆様には、東京を中心とした首都圏との往来は慎重に検討していただき、今はできる限り控えていただくよう注意喚起が必要。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年7月6日(火) 14時45分～15時15分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況について、昨日までの直近1週間で10万人当たり4.2人、札幌市では10万人当たり7.5人となっており、どちらもリンク無しの割合が増加している状況。札幌市においては新規感染者における30代以下の割合が6割を超えており、注視が必要な状況。 ● 全道の入院患者数は減少が続いており、昨日時点で357人、重症患者数は21人となっている。 ● 札幌市内の人出の状況については、札幌駅周辺では日中・夜間ともに増加傾向が継続している。すすきの駅周辺は足元では概ね横ばいとなっているが、まん延防止等重点措置前と比較すると夜間は約4割増加している。(以上、総政) ○ 新規感染者数は大幅に減少してきたが、ここに来て、下げ止まりの傾向となっている。7月11日までのまん延防止等重点措置の下、もう一段新規感染者数を減少させ、医療の負荷を低減させていくことが必要。 ○ 特に、札幌市内における感染の広がりやデルタ株の拡大に警戒し、できる限り外出を控える、札幌との往来を控える、首都圏との往来を控えることを改めて周知徹底してほしい。 ○ 来道者への対策は、国と連携して取り組むことが必要。空港におけるモニタリング検査の実施や県境を越える移動についての注意喚起は国においてしっかり取り組んでほしい。 ○ また、大人数の会食の場面といった感染リスクが高い場面での感染事例が確認されている。飲食の場面では、4人以内、短時間、マスク着用といった基本的な感染防止行動の徹底が必要。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年7月7日(水) 15時20分～15時50分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、教育部長 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議に報告することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況等の認識について、有識者、専門家等からは概ね妥当であるとの意見をいただいている。その際、「札幌の感染を少なくすることが道内の感染者数の減少に繋がる」「感染の次の波を小さくするためにもワクチン接種の拡大と医療提供体制の確保をお願いする」「若年世代の感染者割合が高いこと、リンク無しが増加傾向にあることを踏まえ、感染防止行動の徹底とワクチン接種を急ぐ必要がある」といったご意見が寄せられている。こうしたご意見は、今後の対策に活かしていく。(総政) ● デルタ株については、昨日までに1,356件の検査を実施し、昨晚確認された1件を含め疑い事例3件となっている。(保福) ○ デルタ株の拡大を防ぐためにも、引き続き、緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域との往来を極力控えるよう徹底してほしい。 ○ 7月12日以降についても、決して楽観できる感染状況にはなく、大きなリバウンドを防止する観点からも、7月11日をもって全ての対策を終了する状況にはない。 ○ 医療提供体制のひっ迫を抑え、ワクチン接種を円滑に進めていくためにも、全道における感染防止行動の徹底、特に札幌市内では一定の強い措置が必要。国と情報共有を図りながら、12日以降必要な対応について検討を進めてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年7月8日（木） 11時20分～12時05分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、小玉副知事、教育長 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 今朝開催された国の基本的対処方針分科会において、北海道については7月11日をもってまん延防止等重点措置が解除されることが了承され、本日夜方にも政府対策本部で決定される予定。 ● 7月12日以降についても、夏休みシーズンの人の移動の活発化を見据え、リバウンドの防止と段階的緩和の観点から、お盆が終わる8月22日までの6週間、全道を対象に対策を講じていくこととしたい。 ● 特に、札幌市内については、新規感染者数は減少してきたが、感染経路不明の割合や若年層の割合が増加するなど先行指標が悪化している。また、全国的な感染拡大の中、デルタ株が相次いで確認されるなど、十分な警戒が必要。期間を限定して、飲食店の時短を要請し、徹底的な抑制を図っていきたい。新規感染者の増加傾向などが見られる場合は、対策延長、強化など措置を講じていく方向で、札幌市と調整を進めたい。 ● 全道域では、デルタ株への置き換わりが進むことも想定し、基本的な感染防止対策を徹底することとし、特に、感染リスクを回避できない場合は札幌市との不要不急の往来や、緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域との不要不急の往来を極力控えることなどを要請したい。（以上、総政） ● 道立施設については、休館中の札幌市内13施設を準備でき次第再開していく。基本的対処方針や業種別ガイドラインの改定などを踏まえ、感染対策指針を改定し、感染防止対策を徹底した上で運営していく。（総務） ● 国が夏休み期間中に羽田空港等から来道する者に対し、無料のPCR検査・抗原定量検査を実施する予定。（保福） ○ 空港でのPCR検査等については、来道者にしっかりPRすることが重要。国と連携して働きかけをしてほしい。 ● 事業者の皆様に対して、在宅勤務の活用や休暇取得の促進など出勤抑制の取組のほか、時差出勤やローテーション勤務など人との接触を減らす取組の推進をお願いすることとしたい。（経済） <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年7月9日（金） 10時20分～10時50分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、教育部長、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「夏の再拡大防止特別対策」について本部会議において協議することとした。</p>
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 対策の案について、有識者や専門家等からは概ね妥当であるとのことをご意見をいただいている。その際、有識者等からは「札幌市内のリンク無し割合の急増、デルタ株の増加状況からすると先手の対策が必要」「デルタ株のチェックは徹底して行き、感染拡大を防いでほしい」「札幌市内の時短要請について、対策の効果、必要性に丁寧な説明をお願いしたい」といった意見をいただいております、今後の取組に活かしていく。 ● なお、「ワクチンが感染防止対策の現在の要となっており、接種拡大に向けて努力する旨の記載が必要」とのご意見をいただいております、ワクチン接種に向けた取組について記載をするほか、「飲食の際には、飲食店の実施している感染防止対策に協力することを要請してほしい」とのご意見があり、この趣旨を踏まえた要請を追加することとする。（以上、総政） ● 札幌市内の飲食店等に対しては、国の基準を踏まえ、売上高に応じた支援金を支給する方向で調整している。（経済） ○ 道民の皆様のご理解、ご協力をいただくためにも、対策の必要性や考え方などについて、様々な機会を活用して丁寧に説明していくことが必要。これまでもSNSや各種広報媒体を活用して普及啓発に取り組んできたところであるが、これまで培ってきたネットワークやノウハウを総動員して取り組んでほしい。 ○ 対策の実施と併せてワクチン接種もスピード感を持った対応が必要。供給量の減少など不透明な状況が続くが、まずは高齢者接種を予定どおり終わられるよう、国からの情報収集に努め、市町村をサポートしてほしい。 ○ まん延防止等重点措置の期間はあと2日ある。新規感染者数は先週比で4日連続増加しており、この傾向を食い止め、減少に転じさせていくためにも、最後まで重点措置の徹底に努めてほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年7月15日（木） 14時00分～14時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、小玉副知事、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、教育部長、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議において報告することとした。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月12日から独自の特別対策に取り組んでいるが、札幌市内における感染状況が悪化している。特別対策では、札幌市の新規感染者が10万人当たり15人に近づく場合には、対策の延長を含め強い措置を講じることとしているが、本日15人を超える見込み。 ● リンク無しの割合も50%を超える高い割合が続くなど、市中での感染の広がりが強く懸念される。若年層から中年層への感染の広がりが見られる。 ● すすきの駅周辺においては夜間の人流がまん延防止等重点措置前と比べて約5割の増加となっている。 ● また、東京都が緊急事態宣言の対象となり、14日には1日の感染者数が1,000人を超える状況。首都圏との往来が活発な本道としては警戒も必要。 ● デルタ株も急速に増加している。道外との往来や来道者との接触の無い感染者も増えており、デルタ株による市中感染も懸念される。 ● こうした感染状況等について有識者等も同様の認識となっている。また、「札幌から全道各地に波及させないため札幌の感染を抑えるべき」「市民は自粛生活に疲れているが今一度感染対策の徹底を呼びかけてほしい」「人出が増加している状況を踏まえ、対策の効果をしっかりと検証すべき」といった意見が寄せられている。（以上、総政） ○ リバウンドの傾向が強まっている中、来週には4連休が始まり、夏休みシーズンとなり、人の移動も活発化することから、今後感染状況がさらに厳しくなることも想定される。 ○ 全道ではまだ国のステージⅡ相当であるが、新規感染者数の7割程度を札幌市が占めており、国のステージⅢ相当の状況。これまで本道では札幌市の感染が拡大した後に全道において拡大してきた経験があることから、札幌市の感染を早期に抑え込むことが重要。 ○ 全道への感染拡大を防ぐためにも、札幌市と連携し、現在の対策を徹底するとともに、感染状況を慎重にモニタリングし、まん延防止等重点措置の国への要請を含めて、より強い対策について、早急に検討を進めてほしい。 ● 現在の対策の更なる徹底も必要である。デルタ株の拡大を前提として、警戒レベルを高めていただくことが重要であり、外食や飲食の場面における注意喚起に取り組んでいく。（総政） ○ 東京都など感染拡大地域との往来についても、道民の皆様へのお願いはもとよりであるが、来道を検討されている方々に対しても、様々な機会を活用して協力を求めている。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 来道者に対しては、首都圏在住の方に来道の際の感染防止対策や体調管理の徹底について SNS で発信するほか、7月20日から始まる羽田空港等での搭乗前モニタリング検査の積極的な活用を国と連携して働きかける。(総政) ○ 明日、羽田空港で検査の普及啓発・検査場の視察の際に、空港利用者に対する普及啓発を行う。各航空会社への協力依頼も行っていきたい。 ● ワクチンの供給状況について、第11クールは436箱と第10クールより増加しているが、第12クールも同程度の配分数が見込まれ、市町村からの希望量より少ない量しか供給できず、厳しい状況が続くものと想定している。(保福) ○ ワクチンについては、昨日上京し、菅総理にも供給スケジュール等を速やかにお伝えいただきたい旨、直接要望したところ。引き続き、市町村をしっかりとサポートし、円滑な接種が進むよう取り組んでほしい。 ● 夏の観光シーズンを迎えるにあたり、新しい旅のスタイルを活用し、感染防止対策を徹底する取組について、有識者、専門家等から意見を伺った。皆様から賛同はいただいたが、再開時期は、できるだけ早く再開という意見があった一方、4連休以降や慎重に検討すべきというご意見もあった。今後再開時期について、慎重に検討していきたい。(経済) ○ 現在の感染状況、今後の対策の検討状況なども踏まえて、しっかり検討してほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>
--	---

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年7月19日（月） 10時05分～10時50分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 週末の感染者数も増加しており、前回のアルファ株の影響による感染拡大より速いスピードで拡大している。先行指標は悪化しており、今後更に感染者の増加が強く懸念される状況。 ● また、このまま新規感染者が増加すると早々にステージⅢを超える可能性。療養者数は、札幌市では国のステージⅣにも近づきつつある状況。（以上、総政） ● これまで、全道の新規感染者数10万人当たり15人を超える恐れがある場合などに、「まん延防止等重点措置」の国への要請を検討するとしてきたが、現在、独自の対策に取り組んでいるが、前回の経験を踏まえると、実効性を確保した対策を進めることが重要。 ● これまで札幌市とも協議してきたが、早めに「まん延防止等重点措置」を国に求めていくことも必要な状況。 ○ 首都圏で感染が拡大している中、今後、本格的な夏休みシーズンを控え、人の移動の活発化も想定される。また、アルファ株よりデルタ株の感染性が高いということも考慮する必要がある。爆発的な感染拡大を防ぐため、先手を打って札幌市を対象としたまん延防止等重点措置の要請をしていく。 ○ 私から西村大臣に電話し、道内の感染状況や対策の必要性などお伝えし、まん延防止等重点措置の適用について理解を求めたい。事務的にも、要請書の提出について、内閣官房と調整を進めてほしい。 ● まん延防止等重点措置の実施までの間、札幌市内の特別対策を延長して対応したい。 ● 札幌市内においては、ステージを一段上げて、不要不急の外出・移動を控えることを求め、道外の緊急事態措置区域の住民に対しても、改めて不要不急の都道府県間の移動を控えるよう働きかけを強める。札幌市内の公立施設については、原則休館とするなど対策を強化したい。（以上、総政） ● 札幌市内の飲食店においては、酒類の提供について、アクリル板の設置や手指消毒の徹底など一定の要件を満たした場合、提供可能とするなど要件を強化する。（経済） <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年7月20日(火) 11時40分～12時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、まん延防止等重点措置の実施等について本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● まん延防止等重点措置の実施などについて、有識者等からは概ね妥当であるというご意見をいただいたことから、本部会議での決定後、国に対し文書で要請する。 ● なお、その他、「全道への感染拡大を抑え込む必要があり、まん延防止等重点措置の適用を含め、対策の実効性を向上してほしい」「オリンピックの開催と夏休みに入るため人流を抑えることが必要」「対策に実効性を確保するため、早期に解除できるよう協力を呼びかけるメッセージが必要」「札幌市民へ不要不急の外出や移動を控えることを徹底してほしい」といったご意見をいただいた。 ● まん延防止等重点措置が適用される場合には、現在の基本的対処方針を踏まえると、札幌市内における不要不急の外出・移動を控えることに加え、不要不急の都道府県間の移動、特に緊急事態措置区域との往来は極力控えること、飲食店の営業時間は20時まで、酒類提供は自粛、ただし、一定の要件を満たす場合は19時まで可能となる。適用の決定後、速やかに道の措置として決定できるよう、札幌市とも協議を進めていく。(以上、総政) ○ 全道への感染拡大を防いでいくためには、札幌市内だけではなく、全道一丸となって取組を進め、道民の皆様、事業者の方々、来道を検討されている方々にもご協力をいただくことが必要。あらゆる機会を活用して徹底的に周知を図ってほしい。 ○ まん延防止等重点措置については、国において専門家の意見を伺った上で判断することとなるが、国には、様々な機会を活用して、速やかな検討を求めてほしい。 ○ ワクチンについては、供給量など先行きが不透明な部分もあるが、希望される方が一日も早く接種を終えることができるよう、引き続き、国からの情報収集を進めながら、市町村をサポートし、円滑な接種を進めてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年7月25日(日) 14時00分～14時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この4連休も感染状況が改善しておらず、国との協議を加速していく必要がある。 ● 連休中は検査数も減少している中、札幌市では新規感染者数が先週比で18日連続増加が続いている。7月21日以降、国のステージⅣの水準となる人口10万人当たり25人を超え、本日は27人となる見込み。市内の確保病床の使用率が20%を超え、国のステージⅢの水準となった。 ● 全道の新規感染者数も人口10万人当たり14人と、国のステージⅢの水準に近づいてきた。札幌市が全体の7割を占めており、これまで札幌市の感染拡大が遅れて全道にまん延してきたことから、その前に札幌市の拡大を抑え込んでいく必要がある。 ● 特に、デルタ株については、スクリーニング検査の約4割となっており、急速に増加していることに危機感を有している。デルタ株も7割が札幌市に集中している。(以上、総政) ○ 感染状況が厳しさを増す中で、道独自の措置では、実効性を確保することが困難になってきている。 ○ 国において早期にまん延防止等重点措置を実施していただくことが必要であり、私から西村大臣に電話をし、国会決議の趣旨を踏まえて、速やかな検討をお願いします。必要に応じて、改めて文書で要請することも検討しなければならない。 ● 明日、上京し、速やかな検討について、改めて内閣官房と協議をしたい。(副知事) <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年7月29日(木) 10時35分～11時20分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、観光監 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議に報告することとした。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道の感染状況について、昨日の新規感染者数は6月5日以来、200人を超え、増加傾向が続いている。札幌市についても高い水準が続いている中、札幌市以外でも感染者が増加している。 ● 道内の感染状況等の認識については、有識者、専門家等からは概ね妥当であるとの意見をいただいている。その際、「働いている世代の市中感染が増えており、外出抑制を効果的に行う方法が必要」「今後、ワクチン接種の拡大に向けて若い世代に正確な情報を発信して接種を進めてほしい」といったご意見をいただいております、今後の対策に活かしていく。 ● 昨日、東京で3,000人、全国で9,500人を超える感染確認となった。過去最大の感染拡大の恐れがある中、明日にも国において緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の決定がなされるとの報道がある。 ● 国から、道の取扱いについて、具体的な話は無いが、「効果的な人流抑制を図るためにも政府はまん延防止等重点措置の早期適用を決断すべき」との有識者等のご意見も踏まえ、改めて国との協議を進めていく。 ● また、札幌市内の新規感染者数は緊急事態宣言の水準を大きく超え、全体の数を大きく押し上げている。地域を限定した緊急事態宣言の考え方を含めて国と協議していきたい。(以上、総政) ○ 国に対しては、私から改めて直接西村大臣にまん延防止等重点措置の早期実施等について求めたい。 ○ その一方で、現在の対策の徹底も必要。全道で、感染防止対策の徹底、特に札幌市内における飲食店等への見回りなどの徹底はもとより、緊急事態宣言地域との往来は極力控えることなどについて、改めて徹底してほしい。 ● 重症化リスクの高い高齢者のワクチン接種が進み、感染者に占める高齢者の割合は低い水準となっている。(保福) ○ 今後、本格化する64歳以下の一般接種について、しっかりと市町村をサポートしてほしい。また、対策が長期化していく中で、ワクチンの接種率など措置の解除の目安が示されることが重要。国に対して目安の明示について検討を進めるよう求めてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年7月30日（金） 10時40分～11時25分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、保福部長、コロナ監、教育部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 今朝開催された国の基本的対処方針分科会において、北海道については8月2日から8月31日までの30日間、まん延防止等重点措置区域に追加することが了承され、本日夕方にも政府対策本部で決定される予定。 ● 基本的対処方針が改定され、まん延防止等重点措置区域では、酒類は原則提供自粛、ただし、感染が下降傾向にある場合には知事の判断で一定の要件を満たした店舗において19時まで提供できることなどが変更となっている。 ● まん延防止等重点措置の適用や道内の感染状況を踏まえ、全道を道の警戒ステージ4に移行し、札幌市を警戒ステージ5相当とする。（以上、総政） ○ 昨日、西村大臣に電話し、改めて、まん延防止等重点措置の実施について、本道及び札幌市内の厳しい感染状況を伝えるとともに、地域を限定した緊急事態宣言の考え方について確認するなど、今後の対策について協議を行った。今後の連携などについても認識を共有したところであり、引き続き、国としっかり連携して、実効性ある対策に取り組んでほしい。 ● 現在の感染状況を踏まえ、札幌市を対象区域として強い措置を講じる。なお、その他の地域については、札幌市との往来などにより感染が拡大し、札幌市と同等の措置を講じることが感染抑止のために必要、地域において感染が一定期間継続して発生し続け、札幌市と同様に当該地域に止まらずに感染が拡大する恐れがある、といった状況を総合的に勘案して判断することとする。 ● 昨日、強い措置を講じるよう要請のあった北見市については、これまで医師等を派遣して徹底的な疫学調査を行い、積極的な検査に取り組むなど感染の抑制に取り組んできたところであり、現在高止まりの状況となっている。感染状況や医療提供体制等も踏まえ、市と連携しながら徹底した行動変容をお願いすることとし、北見市と調整していく。今後とも慎重にモニタリングを行っていきたい。 ● その他の地域についても感染リスクを回避する行動の徹底を図りたい。北見市に限らず、今後さらなる感染拡大が懸念される場合には、措置区域への追加を含め、機動的に対応していく。（以上、総政） ● 札幌市の飲食店等では、基本的対処方針の変更を踏まえ、営業時間を5時から20時までとし、酒類の提供を行わないとすることで調整したい。（経済） ○ まん延防止等重点措置と緊急事態措置においては酒類提供ができないという同じ措置にも関わらず、国の協力金の単価について差があることから、国にしっかりと要請すべき。他の府県と連携した国への要望について調整してほしい。

	<ul style="list-style-type: none">● 札幌市内の学校においては、これまでの要請等に加えて、運動会、修学旅行等の学校行事は中止、延期、縮小とする。（教育）○ 札幌市からの全道への感染拡大を防ぐことが重要。札幌市から周辺市町村への飲食や公共施設利用による移動など札幌市外との往来を控えることを徹底してほしい。○ 来道を検討されている方に対しては、来道を極力控えていただくこと、避けられない場合は感染防止対策を徹底し、出発前にPCR検査を受けるなど体調管理を徹底することをあらゆる機会を通じて、強く働きかけてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>
--	--

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日時	令和3年7月31日(土) 11時05分～11時45分
場所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「北海道におけるまん延防止等重点措置」について本部会議において協議することとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 措置の案について、有識者や専門家等からは概ね妥当であるとのことをご意見をいただいている。その際、「大規模施設の入場整理により日中の密を避ける対策を徹底してほしい」といった意見をいただいた。時短による日中の人流増加に繋がる恐れを考慮し、他県での検討状況も踏まえ、入場者の整理誘導等により対策を徹底することとし、時短については特措法に基づく要請ではなく、協力依頼とすることとしたい。 ● また、「若年から中年世代が大部分であるという今回の特徴やデルタ株の恐ろしさを道民にPRしてほしい」「首都圏や大阪から北海道への移動を控えるよう、政府から強いメッセージを発するよう求めるべき」「来道そのものを減らす対策が必要」「札幌市以外でも感染急拡大が危惧されることを発信すべき」といったご意見をいただいております、今後の具体的な取組や丁寧な発信に反映していく。 ○ 札幌市内の新規感染者数は緊急事態宣言の目安を超えており、他県で見られるように、今後過去最大の感染拡大となる恐れがある。警戒レベルを最大限に上げて、札幌市と連携して対策の徹底に取り組んでほしい。 ○ その他の地域についても感染状況は一様ではないが、危機感を一段上げて、市町村との連携の下、地域の感染状況を踏まえた対策を機動的に実施してほしい。 ○ 引き続き、道内の感染状況について、国と情報共有を図り、緊急事態宣言の適用についても協議を続けてほしい。 ● 昨日、北見市に対して、今般のまん延防止等重点措置に係る道の考え方を説明し、北見市内における感染拡大の抑止に向けて、道・振興局・市の三者で連携を図りながら取り組んでいくことについて、認識を共有した。 ● 引き続き、地域の感染状況等については、慎重にモニタリングを行いながら、当該地域に止まらず感染拡大の恐れがある場合など、措置区域への追加も含めて機動的に対応していきたい。(以上、総政) ○ 昨日、菅総理が、緊急事態宣言の出口について、ワクチンの接種状況と併せて、医療提供体制への負荷に着目した分析を進め、社会経済活動の制限の緩和に向けた道筋を示すと発言。道としても、ワクチンの接種率など解除の目安を示すことが重要と要請してきた。引き続き、希望する方へのワクチン接種が一日も早く終了するよう接種環境を整えるとともに、ワクチンの有効活用に向けて、市町村間の融通を積極的に進めてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年8月4日（水） 10時10分～10時55分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、 政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議に報告することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道の感染状況について、新規感染者は人口10万人当たり30人を超えるなど厳しい状況。先週比で2倍を超えるなど感染拡大のスピードも上がっている。札幌市においても連日100人を超える確認となっており、リンク無し割合も5割を超える高い水準で推移している。 ● 入院患者数は529人、療養者数は2,035人と増加が続き、特に、札幌市内における病床使用率は40%を超える状況となっている。入院率については19%と国のステージⅣの指標を上回っているが、若年層の感染者割合が高く、宿泊療養者や自宅療養者が多いことから、入院できない方が多くなっている状況ではない。 ● 感染状況に関する認識等について、有識者等からは概ね妥当であるとの意見をいただいている。その他、「デルタ株の感染力やワクチン接種の有効性などについて、道民に理解を深めるよう広報に努めてほしい」「事務所、学校、飲食店の感染については、囲い込みを可能な限り行ってほしい」「我慢の先には明るい未来があるというビジョンを示すよう国に対して要請してほしい」といったご意見が寄せられており、今後の対策に活かしていく。（以上、総政） ● Go To Eat 事業について、テイクアウト、デリバリーのみを条件に全道で再開することを検討中。有識者から意見を伺うこととしたい。（経済） ● 昨日、国から「現下の感染拡大を踏まえた患者療養の考え方」の通知があり、入院は重症化リスクの高い者に重点化、入院患者以外は自宅療養を基本とすることが示されている。道としてはこれまでも医師の判断に基づき、入院や自宅療養、宿泊療養としている。今後も医師会等と連携し、自宅療養者の経過観察の強化や訪問診療の体制強化を進めていく考え。（保福） ○ 8月2日からまん延防止等重点措置の下、対策の徹底に取り組んでいるが、デルタ株の置き換わりによる過去最大の危機になり得るという強い危機感を持っている。今後の更なる感染拡大に備え、更なる強い措置、更なる体制の強化など、迅速に対応できるよう、国と協議を行いながら、あらゆる事態を想定した検討を進めてほしい。 ○ これから3連休、夏休み、お盆と感染リスクが最も高まる時期を迎える。都道府県をまたぐ往来は極力控え、できる限り家族など普段会う人と自宅で過ごすよう、道民の皆様はもとより、帰省や旅行で来道を検討している方に対しても注意喚起してほしい。 ○ また、明日から8日までオリンピックの競歩、マラソンが札幌市内で開催されることから、改めて、自宅での応援をお願いし、沿道での観戦自粛を周知徹底してほしい。（了）

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年8月10日(火) 10時35分～11時15分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、教育部長、財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議において報告することとした。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況について、新規感染者が連日300人を超え、10万人当たりも40人を超える厳しい状況。札幌市が全道の70%を占めている状況であるが、札幌市以外の新規感染者数も10万人当たり21.6人となり、感染拡大が続いている。 ● デルタ株については、直近1週間では約60%がデルタ株となるなど置き換わりが進んでいる。このうち70%を札幌市に集中している状況。 ● こうした感染状況の認識等について、有識者等からは概ね妥当であるというご意見をいただいている。また、「公園や路上等における飲酒の実態及びその対応を情報提供願いたい」といった意見が寄せられている。現在、札幌市と連携し、警備員による個別の声かけやベンチへの注意喚起表示などに取り組んでいるところであり、引き続き、効果的に進めていく。 ● その他、「感染状況を見ると50代以下が大半を占めている。企業等に強く働きかけが必要」「事業所等における感染防止対策の徹底に向けて、業種別ガイドラインに準じた感染防止対策チェックシートの活用が重要」といった意見が寄せられており、今後の対策に活かしていく。(以上、総政) ● Go To Eat 事業のテイクアウト・デリバリーに限定した再開について、有識者からは概ね妥当であるというご意見をいただいている。農水省と協議し、再開を決定する。(経済) ● 部活動での集団感染が複数発生しているため、感染拡大防止対策に万全を期すよう、改めて、学校等に求めていく。(教育) ○ 全国でも連日1万人を超える感染者が確認されるなど、過去最大規模の感染拡大が続いている。今週からお盆に入り、最大限の警戒が必要。改めて、家族や友人の命と健康を守るための行動をとっていただくよう周知徹底をしてほしい。 ○ 札幌市以外の新規感染者数も増加が続いており、緊急事態宣言の水準である25人に近づいている。今後の感染動向について危機感を持って注視し、必要な措置を迅速に講じることができるよう準備してほしい。 ○ 振興局においても、市町村と連携を図り、啓発活動を集中的に実施するなど、地域の実情に合わせた対策に機動的に取り組んでほしい。 ● 道のワクチン接種センターの接種実績は8月9日までに36,119回で、予定していた4万回を概ね達成し、今週末に終了の予定。(保福) ○ 道のワクチン接種センターについては、一般の方々への接種の加速化に向けて、関係機関との連携の下、接種センターの機能の有効活用について検討を進めてほしい。(了)

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年8月12日（木） 13時05分～13時50分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況について、札幌市以外の10万人当たり新規感染者も緊急事態宣言レベルの25人を超える見込み。札幌市も市内の人流は減少しているものの、感染拡大に歯止めがかかっていない状況。 ● このため、全道において、「感染リスクを回避できない場合」という前提を削除し、不要不急の外出や移動を控える方向で検討したい。 ● 特に、石狩振興局管内・小樽市においては、札幌市との往来により感染が広がっている。措置区域の適用の考え方を踏まえると、措置区域に石狩振興局管内及び小樽市を追加することが必要な状況となっている。 ● また、旭川市や函館市など、その他地域においては、市町村と連携しながら、それぞれの地域の感染状況を踏まえ、感染防止対策に取り組むこととする。（以上、総政） ○ 札幌市以外においても緊急事態宣言レベルの新規感染者となる大変厳しい状況。札幌市との往来の多い石狩振興局管内、小樽市については速やかに強い措置を講じる必要がある。 ○ その他の地域についても、振興局、市町村と連携の下、必要な感染拡大防止対策を講じてほしい。地域ごとの感染状況をしっかりとモニタリングし、感染拡大が継続する場合には、措置区域への追加も含め、機動的に対応すること。 ● 部活動での感染が疑われる事例が多発していることから、対策レベルを上げる。全道において、部活動は時間、人数、活動内容を厳選し、活動場所を自校内に限定し、感染防止対策を徹底する。また、大会への参加は校長判断とし、合宿など宿泊を伴う活動は自粛する。（教育） ● こうした措置内容について、有識者等のご意見を伺った上で、明日、本部会議を開催し、決定したい。（総政） ○ 国に対して、札幌市以外の地域においても新規感染者数が緊急事態宣言レベルの状況になりつつあるということをお伝えし、改めて、考え方を確認してほしい。 ○ また、1都3県など緊急事態宣言が発令されていても感染が爆発的に拡大し、災害レベルとも言える状況の改善が見られない。緊急事態措置の実効性を高める措置について、全国知事会と連携して、国に検討を求めていく必要がある。 ● 道のワクチン接種センターについては、13日で接種終了となるが、今後接種の加速化を図る必要があることから、一般向けの接種継続について検討している。（保福）

	<ul style="list-style-type: none">● 本日、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会が持ち回りで開催され、人流を低減するため、百貨店の地下食料品売り場などの人出を強力に抑制することなどを提言としてまとめる予定。道としてはこれまでも個別に百貨店を訪問して協力を依頼してきたが、改めて、市町村と連携し、業界団体への協力依頼や個別訪問などを通じて対策を徹底していく。（経済）○ 全国的には百貨店でのクラスターの発生も見られている。事業者としっかり連携し、実効性ある対策に取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>
--	--

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年8月13日（金） 11時00分～11時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「北海道におけるまん延防止等重点措置」の改定について本部会議において協議することとした。</p>
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 措置の改定案について、有識者や専門家等からは概ね妥当であるとのこと意見をいただいている。その際、「テレワークの推進など、事業者の協力が不可欠。注意喚起を徹底してほしい」「30歳代以下の感染者割合が増えており、そうした人達への呼びかけが必要」「まん延防止等重点措置区域への往來の自粛について強いメッセージの発信をお願いする」「緊急事態宣言の適用を強く訴えて対策強化につなげてほしい」「急速に感染が拡大している50代以下の方々について早急にワクチン接種できるよう要望する」といったご意見をいただいております、今後の対策の参考としていく。 ● 関係市町村の協議も整ったことから、本日の本部会議において、小樽市、石狩管内を措置区域として、札幌市と同等の強い措置を講じていくことなどについて諮ることとした。 ● その他の地域についても、振興局と市町村が連携し、地域の実情を踏まえた対策を徹底していく。予断を許さない状況が続いていることから、引き続き、感染状況を慎重にモニタリングしていく。（以上、総政） ○ 首都圏では災害にも近い感染拡大と言われている。こうした危機感を共有し、市町村と連携を図りながら、今回強化する措置を含め、対策の徹底に取り組んでほしい。 ○ 首都圏等は緊急事態宣言下にあるが、新規感染者数が減少していない。大事なポイントは措置の実効性であり、まん延防止等重点措置と同等の内容となっている緊急事態措置について実効性を高めていくことが必要。 ○ 特に、北海道はこれまでも首都圏等から遅れて増加してきた。全国的な感染拡大を食い止めるために首都圏等での対策の徹底が重要。 ○ こうした問題認識や道内の厳しい状況について、西村大臣に連絡して協議する。 ○ 「北海道ワクチン接種センター」の高齢者向け接種が本日終了するが、一般向け接種に向けて、関係機関との協議を進め、早期開始に向けて準備してほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年8月17日(火) 11時20分～12時05分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 今朝開催された国の基本的対処方針分科会において、北海道については9月12日まで、まん延防止等重点措置を延長することが了承され、本日夜にも政府対策本部で決定される予定。 ● 基本的対処方針が改定され、デルタ株への置き換わりが進み、急速に感染が拡大していることを踏まえ、まん延防止等重点措置区域では、大規模商業施設や百貨店の地下食品売り場への「入場者の整理等」の要請や混雑した場所等への外出の半減を強く呼びかけること、在宅勤務の活用や休暇取得の促進等による接触機会の低減などが新たに位置付けられている。(以上、総政) ○ これまで国に対しては、道内の感染状況は緊急事態宣言レベルにあるということを伝えるなどしてきたが、今回は、国において専門家の意見を伺いながら、まん延防止等重点措置の期間を延長して対応することとなった。厳しい状況は続いており、引き続き、道内の感染状況等を共有しながら、緊急事態宣言の協議を続けてほしい。 ○ また、まん延防止等重点措置は緊急事態措置と違いが無く、今回の対処方針の変更も抜本的なものとは言えない。国の専門家も更なる検討が必要と指摘しているように、措置の実効性を高めていくよう、引き続き国に求めてほしい。 ● 感染状況について、札幌市においては新規感染者が200人を超える日も多く厳しい感染状況が続いている。措置区域に追加した小樽市と石狩管内も感染が増加している。 ● 旭川市が週末から急速に感染者数が増加している。これまで、市による感染状況の分析を踏まえながら、市長と振興局長が必要な対策について協議を行っているが、周辺地域にも広がりが見られることなどを踏まえ、旭川市を措置区域に追加し、緊急事態措置と同等の強い措置を講じていく方向で検討したい。 ● また、基本的対処方針の改定に合わせて、まん延防止等重点措置区域において大規模施設の入場整理など措置内容を強化することとし、有識者等のご意見を伺った上で、明日、本部会議を開催し、決定したい。(以上、総政) ● 措置区域内の大規模施設に対しては、これまでも市町村と連携して文書で協力を要請するなど対応してきたが、国の考え方や他県の対応なども踏まえながら検討したい。(経済) ○ 全道的に感染が広がっている。一様ではない感染状況を踏まえ、市町村と連携して、引き続き、集中的な対策に取り組んでほしい。その上で、さらに感染の広がりが見られる場合には、措置区域への追加についても機動的に対応していきたい。

	<ul style="list-style-type: none">● ワクチンについて、関係団体のご協力をいただき、道のワクチン接種センターの運営を継続する。8月23日から石狩管内の一般向けの会場とし、週2回夜間接種も実施する。18日から予約開始とする。また、アストラゼネカ社製のワクチンの道内接種会場として同センターを国に登録した。（保福）○ 今後、一般向け接種が本格化する。特に若年層の接種促進に向けて、積極的に普及啓発するなど、希望する方へのワクチン接種が一日も早く終了するよう、引き続き、万全の体制で臨んでほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>
--	---

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年8月18日(水) 10時40分～11時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「北海道におけるまん延防止等重点措置」の改定について本部会議において協議することとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 措置の案について、旭川市とも認識が一致した。有識者や専門家等からは概ね妥当であるとのことをご意見をいただいている。その際、「札幌市内の病院や高齢者施設の職員が陽性になっている。ワクチン接種で安全ではなく、引き続き感染対策の必要性を注意喚起してほしい」「夏休み後の人流増に対応するため、先手の対応が求められる」「旭川以外の地域も予断を許さない状況にあり、今後も迅速な対応が求められる」といったご意見が寄せられており、今後の対策や情報発信などの参考としていく。 ● また、「緊急事態宣言の対象とならなかったことについて、報道では、道からの要望が強くなかったことが理由としてあげられている」「国との協議にとどまらず、明確な要望を示すことも選択肢なのでは」といったご意見もいただいた。(以上、総政) ○ 道からの要望が無いから緊急事態宣言の対象とならなかったというのは事実ではないが、そうしたご意見にも対応していく必要があるのではないかと。具体的方法を検討してほしい。 ● お盆など夏休みシーズンにおける人の移動も活発化し、今後更に感染者数が増加する懸念もある。これまでの国との協議について文書にし、改めて緊急事態宣言の適用の検討を求めることも含めて検討したい。(総政) ○ 昨日、総理会見において、「感染防止対策」「医療体制の構築」「ワクチン接種」の3つの柱からなる対策を確実に進めるという発言があった。道としてもこうした国の方針を踏まえ、適切に対応していくことが必要。 ○ 感染防止対策については、引き続き、強い危機感をもって、全道で徹底した対策に取り組んでほしい。 ● 医療提供体制について、札幌市内の病床使用率が50%を超え、厳しい状況にあるほか、その他の地域においても感染者の増加に伴って医療への負荷が増加していることから、全道の医療提供体制のフェーズを3に引き上げることとしたい。(保福) ○ 医療体制の構築については、引き続き、病床や宿泊療養施設の確保に努めるほか、自宅療養者への訪問診療など、安心して療養できる体制のさらなる充実強化を図ってほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年8月25日(水) 10時15分～11時00分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日、国の基本的対処方針分科会において、8月27日から9月12日まで、北海道が緊急事態措置区域に追加することとされ、本日夜にも政府対策本部で決定される見込み。(総政) ○ 昨日、西村大臣と電話し、広大な北海道においては、感染状況も一様ではなく、地域の状況に応じた対応が必要といったことについて認識が一致したところ。札幌市をはじめとする厳しい感染状況にある地域について、緊急事態措置の下でしっかりと感染を抑え込んでいくことが必要。 ● これまで、まん延防止等重点措置の下、措置区域としてきた札幌市、小樽市、石狩管内、旭川市については感染が高い水準で継続していることから、特定措置区域の考え方を踏まえ、酒類を提供する飲食店の休業や、その他の飲食店、大規模商業施設等における20時までの時短営業など強い措置を講じることとしたい。 ● その他の地域についても、全道に感染が広がっていることなどから、外出自粛のほか、感染拡大の起点とされる飲食の場面における対策を徹底することとし、飲食店等の時短などを実施したい。(以上、総政) ● 大規模小売施設等の週末の対応については、営業時短要請に加え、土日におけるセールや集客イベントの自粛要請を行う方向で札幌市と協議したい。(経済) ● 特定措置区域の学校については時差通学や16時までの完全下校を徹底するほか、全道域で部活動は高体連等が主催する全道・全国大会に出場するものに限り、時間・人数・活動内容を厳選し、自校内に限定して実施することとしたい。(教育) ○ 本道は他県に先駆けて新学期が始まっている。オンライン学習など学びの機会の確保や部活動における対策の徹底など、学校における対策強化にしっかり取り組んでほしい。 ○ 感染者を減少に転じさせていくためには、徹底した感染防止行動の徹底、人の動きの抑制が必要であり、道民、事業者の皆様には大きな負担をおかけすることになるが、厳しい感染状況等にご理解とご協力をいただきながら、全道一丸となって取り組んでほしい。 ● 第三者認証制度については、札幌市と連携の下、飲食店の募集・認証は道が、現地確認は市が行うこととし、9月1日から市内飲食店を対象として試行的に申請を受け付ける方向で調整している。(経済) ○ 基本的対処方針において、第三者認証制度の普及と適用店舗の拡大が求められており、国の検討状況も踏まえながら、札幌市ともよく連携して取組を進めてほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 妊娠中の方やその配偶者等へのワクチン接種について、国の通知も踏まえ、希望する場合にできるだけ早期にワクチンを接種していただけるよう、本日、市町村や医師会あてに特段の配慮を要請したい。（保福） ○ 妊娠中の方など配慮を必要とする方を含め、希望される方ができるだけ早くワクチン接種を受けることができるよう、引き続きしっかり市町村をサポートしてほしい。 ● 道の警戒ステージについて、昨日の有識者会議での議論を踏まえ、必要最小限の見直しを行うこととする。今後、国の検討状況を踏まえて、改めてステージ判断の指標等を見直していく。また、ステージ判断としては、国における緊急事態宣言を踏まえ、見直し後のステージ4として運用していくこととしたい。 ● 措置案及び警戒ステージの改定について、有識者等のご意見を伺った上で、明日、本部会議を開催し、決定したい。（以上、総政） <p style="text-align: right;">（了）</p>
--	---

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年8月26日(木) 10時15分～10時45分
場 所	知事応接室
出席者	知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「北海道における緊急事態措置」について本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 措置の案について、有識者や専門家等からは概ね妥当であるとのことをご意見をいただいている。その際、「急激な感染拡大を踏まえ、国の緊急事態宣言に基づき、全道域で感染対策を強化することはやむを得ない」「全国からの来道者の抑制に向けて、緊急事態宣言地域への往来を控えるよう、強く呼びかける取組を政府に求めてほしい」「行動自粛に繋がるような丁寧な情報発信をするなど、国民の健康と命を守る万全の方策を講じること」「国の緊急事態宣言を踏まえ、さらなる対策を講じることが当然の判断」といったご意見をいただいております、今後の取組の参考としていく。(総政) ● 留萌振興局職員が大人数で長時間に渡る飲食を行い、6名の集団感染が確認されたことを踏まえ、昨日、留萌振興局長が記者会見を行ったが、本日、改めて全職員に対して感染防止対策を徹底するよう通知を发出する。 ● また、この度の緊急事態措置を踏まえ、これまでのテレワークの積極的な活用に加えて、土日の振替によるローテーション勤務の活用など、取組の強化についても通知する。(以上、総務) ○ 首都圏を中心に災害時の状況に近い局面が続いている。今後、夏休みシーズンの人の移動の影響により、感染者がさらに増加することも懸念される。首都圏などが直面している状況を何としても回避するため、全道が緊急事態にあるという認識の下、最大限の危機感を持って、人と人との接触を徹底して抑えること、命を守るための行動を徹底してほしい。 ○ 入院患者、療養者の増加が続いており、医療提供体制の充実強化も必要。病床の更なる確保とともに、宿泊療養施設の効果的な活用に向けた検討を進めてほしい。また、訪問診療やオンライン診療の実施など、自宅療養者への万全な支援に取り組んでほしい。 ○ このような状況の中、振興局職員同士の飲食による集団感染事例の発生は、率先して取り組むべき道職員として、あってはならない。二度とこうした事例がおきないように、職員一人一人に徹底してほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年9月1日（水） 13時05分～13時35分
場 所	知事応接室
出席者	知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局次長、感染症対策局長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議において報告することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の新規感染者は減少の動きが見られるが、事業所や学校などにおける集団感染が増加するなど、依然高い水準。医療提供体制も入院患者、療養者は増加の傾向が続き、厳しい状況。（総政） ● 先週、知事から指示のあった医療提供体制の充実強化について、利便性の高い札幌市内中心部に位置し、宿泊療養施設としているホテルフォルツァ札幌駅前前に14床の臨時医療施設を開設し、9月中旬から受入を開始する予定。新たに中和抗体薬治療を開始するほか、点滴や酸素投与、処方箋の発行も実施し、軽症の方が重症化しないよう体制を整備する。 ● また、ワクチン接種や自宅療養者の健康観察など看護師需要が高まる中、宿泊療養施設での対応も重要であり、看護師確保に向けた事前登録制度を来週にも開始する予定。（以上、保福） ○ 臨時医療施設については、来週から患者の受入をできるよう、早急に調整を進めてほしい。 ○ 夏休みシーズンが終わり、学校や仕事が通常の活動に戻っている。昨日、経済界の方々との懇談会を開催し、感染防止行動の徹底を依頼した。また、「出勤者数削減官民共同メッセージ」を發出し、出勤抑制などの取組を進めていくこととした。 ○ 関係団体との連携の下、緊急事態宣言期間の9月12日まで、最大限の警戒感を維持し、人と人との接触を徹底して抑える対策の徹底を図ってほしい。 ● 新学期が始まり、児童生徒の感染確認が続いている。健康観察の徹底や幅広い休業措置など、学校における感染対策の一層の徹底を図っていききたい。（教育） ● 国において、社会経済活動の制限の緩和に向けて、明日開催の成長戦略会議や明後日開催の経済財政諮問会議などで議論される見込みであり、情報を収集していく。（総政） ○ 社会経済活動に向けてもワクチン接種の推進がより重要となってくる。国の検討状況について、しっかり情報収集するとともに、ワクチン接種を希望される方にできるだけ早く接種ができるよう、しっかりと市町村をサポートしてほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年9月7日(火) 16時40分～17時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道の新規感染者数は減少が続いているが、札幌市をはじめとする緊急事態措置の対象区域は国のステージⅣの目安を超えている。医療機関が集積する札幌市の病床使用率も50%近い厳しい状況にある。 ● 特定措置区域以外の市町村についても、函館市や帯広市の新規感染者数が高い水準となっている。現在、振興局と市が連携し、徹底した感染防止対策を進めており、慎重にモニタリングを行いながら、機動的に対応していきたい。(以上、総政) ○ 本道は他県との往来が多く、全国的に感染が高い水準にある中、他県の感染拡大の影響を強く受ける恐れがある。また、過去最大規模の感染拡大を抑え込んでいくためには、日本全体として対応する必要がある。こうした状況も踏まえると、12日で強い措置を解除することは難しいのではないか。 ○ 私からも、西村大臣に連絡し、改めて、道内の厳しい感染状況について認識を共有するとともに、こうした考え方をお伝えし、国においてしっかり検討いただくようお願いをする。 ● 国において、緊急事態宣言等の解除の考え方や社会経済活動の正常化に向けた道筋について検討されているが、今後の対応を検討する上で、こうした考え方について早急に示していただく必要がある。(総政) ○ 今後の制限の緩和に向けては、引き続き、国から情報収集を行いながら、道としても課題を整理してほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年9月8日(水) 10時05分～10時35分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議において報告することとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道内の感染状況の認識等について、有識者等からは概ね妥当であるというご意見をいただいている。その際、「シルバーウィークを控え、人の動きが活発になることが予想される。学校等のクラスターもあり、もう少し我慢が必要」「新規感染者数が減少傾向にあるが、クラスターが依然発生するなど緊急事態宣言の延長は避けられない」「感染者数は決して楽観視できるレベルではなく、少なくとも今年6月下旬の水準まで低減するよう対策を継続する必要」「ワクチン接種が進まない市町村に道が積極的に関与し、接種の促進を図る必要がある」といったご意見が寄せられており、今後の取組の参考としていく。 ● 今朝開催された国の新型コロナウイルス感染症分科会で「緊急事態措置解除の考え方」が示された。今まで以上に医療のひっ迫が重視されるものとなっている。この考え方が実際にどのように適用されていくのか確認する必要がある。(以上、総政) ○ 現在、様々な情報が錯綜している。しかしながら、最も重要な緊急事態宣言でどのような措置が必要なのかなどが示されていない。こうした点をしっかりと情報収集してほしい。 ○ 道の緊急事態宣言の取扱いについては、大臣は、国の方針はまだ決まっておらず、専門家の意見を踏まえて最終的には国として判断したいとのことであった。 ○ 今後、基本的対処方針の変更も含めて、国としてどのような対応を行っていくのか、慎重に見極めながら、9月13日以降の対策の検討を進めてほしい。 ○ 現在決まっているのは、緊急事態宣言は9月12日までであるということ。高い警戒感を維持し、新規感染者数の減少を確かなものとするため、市町村と連携して、対策の徹底を図ってほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年9月9日（木） 10時45分～11時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 今朝開催された国の基本的対処方針分科会において、北海道における緊急事態措置については9月30日まで延長することとされ、本日夜にも政府対策本部で決定される見込み。 ● 現時点における基本的対処方針には、ワクチン接種の進捗状況を踏まえ、緊急事態措置区域等における行動制限の縮小・見直しについて、地方公共団体や事業者等との議論や技術実証を行い、具体化を進めることが追加されている。 ● また、まん延防止等重点措置区域の都道府県においては、感染が下降傾向にある場合には、地域の感染状況等に応じ、都道府県知事の判断で、第三者認証制度の適用等の一定の要件を満たした店舗において、19時半まで酒類を提供できるよう変更となっている。 ● 新規感染者数は減少傾向が続いているが、デルタ株への置き換えや全国的な感染拡大、厳しい道内の感染状況を踏まえ、引き続き、札幌市、小樽市、旭川市、石狩振興局管内10市町村について、特定措置区域として強い措置を講じていきたい。（以上、総政） ● 一般措置区域においては、基本的対処方針の趣旨を踏まえ、これまで一定の要件を満たした店舗において19時としていた酒類の提供を19時半としながら、これまでと同様の措置を講じていきたい。（経済） ○ これまで事業者の皆様のご理解とご協力もいただきながら、新規感染者数は減少傾向となってきている。一般措置区域において酒類提供を19時30分までに緩和されるのは事業者にとって大きい。別途通知とされている酒類を提供する際の一定の要件の内容を確認し、対応を検討してほしい。 ○ まん延防止等重点措置においては、第三者認証制度の実施の状況等を踏まえ、知事の裁量で営業や酒類提供の時間を遅くすることが可能となる。そうした状況を踏まえて、第三者認証制度の準備を進めてほしい。 ○ 国においては、今後の行動制限の緩和に向けて、国民的な議論を進めていくとしている。国の動向を注視しながら、先を見据えて、課題の整理を進めてほしい。 ● 明日から、札幌市内の宿泊療養施設を活用した臨時医療施設を開設する。中和抗体薬治療のほか、点滴や酸素投与、処方箋などの発行など行うことが可能。（保福） ○ 市内中心部にあることで、他の宿泊療養施設との連携や病院への搬送など利便性が高まると考えられる。軽症の方が重症化しないよう、万全の支援を行ってほしい。（了）

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年9月10日（金） 10時50分～11時20分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「北海道における緊急事態措置」の改定について本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 措置の案について、有識者や専門家等からは概ね妥当であるとのことをご意見をいただいている。その際、「新規感染者数や療養者数に減少傾向は見られるものの依然として高い水準にあることから、対策を継続することについては理解」「行楽地や彼岸の墓参りなど、人出が予想されるため、連休前から不要不急の外出自粛や感染対策の呼びかけを強めてほしい」「一般措置区域に住んでいる道民に対して、強い措置を継続することについて、丁寧な説明をお願いしたい」「医療現場は引き続き厳しい状況が続いており、国による緊急事態措置の延長はやむを得ない」といったご意見をいただいております、今後の取組の参考としていく。（総政） ● 一般措置区域の飲食店等における酒類の提供については、国から一定の要件について通知が発出された。その内容を参考として、原則4人以内やアクリル板の設置などの要件を満たした場合に、19時30分まで酒類を提供できることとしたい。（経済） ● 依然として児童・生徒の感染が続いている。児童・生徒だけではなく、ご家族の方全員の健康観察の徹底など校内に持ち込ませない取組や、市町村に対する教職員のワクチン優先接種を配慮するよう要請するなど校内で感染を広げない取組を進める。（教育） ○ 道内の感染状況を踏まえると、ここで感染者数をもう一段減少させ、医療の負荷を低減させていかなければならない。今後の行楽シーズンの到来による人の移動の活発化にも警戒が必要。これからの3週間が重要であり、市町村や団体等との連携を深め、改めて徹底的な対策に取り組んでほしい。 ○ また、特定措置区域以外の地域についても、引き続き慎重にモニタリングを行い、状況の悪化が見られる場合にはさらなる強い措置について機動的に対応してほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年9月15日(水) 15時00分～15時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局次長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道の新規感染者数は減少傾向が続いているが、新規感染者数、病床使用率、入院率、療養者数がステージ3の目安を上回っている状況。特定措置区域においても新規感染者数は減少傾向が見られているが、札幌市の10万人当たり療養者数がステージ4の目安を上回る高い水準にある。 ● デルタ株に置き換わり、全国的に感染者数が高い水準が続く中、今週末に三連休を迎える。昨年秋の感染拡大もシルバーウィークから増加傾向となったことを踏まえ、人の移動の活発化には最大限の警戒が必要。(以上、総政) ○ 感染者数が減少すると、どうしてもガードが下がってくる。昨年を経験を踏まえると、この三連休の過ごし方が重要。引き続き、市町村、関係団体とともに、警戒を緩めることなく、連休における注意喚起など、改めて対策を徹底してほしい。 ● 国から技術実証を行う候補案件の募集を行う旨の連絡があった。実施条件の詳細などが明らかになっていないが、道としても、市町村や業界団体と調整しながら、飲食店・ライブハウスなどの候補を提案する方向で検討していきたい。(経済) ○ 道としても国の実施する技術実証に協力していく必要がある。感染状況を慎重に見極めつつ、飲食の場面などで実施できるよう検討を進めてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年9月16日(木) 11時10分～11時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、観光監、 教育部長、財政局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議において報告することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 感染状況の認識等について、有識者や専門家等からは概ね妥当であるとのことをご意見をいただいている。その際、「道内の感染状況については、札幌市とそれ以外の地域の差が大きいので、緊急事態宣言の解除については慎重な対応をお願いする」「ワクチン接種を順調に進めるため、対策が緩まないよう周知願いたい」といったご意見をいただいております。今後の取組の参考としていく。(総政) ● 国の技術実証への提案について、飲食店は札幌市内や地域からの選定を検討している。また、ライブハウスや劇場での実施についても検討中。(経済) ○ 国に具体的な内容について確認しながら、関係市町村・団体と協議し、準備を進めてほしい。 ○ 今後の感染拡大に備え、今から医療提供体制の強化に向けた準備を進める必要がある。大規模な臨時医療施設の確保に向けた検討を加速してほしい。 ● 10月にも、札幌市内において大規模臨時医療施設を設置できるよう、速やかに調整していく。(保福) <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年9月22日（水） 10時40分～11時10分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	<p>感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、道内の感染状況等について本部会議において報告することとした。</p> <p style="text-align: center;">〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 警戒ステージの指標については、全道では、全て前週より改善しているが、病床使用率のみステージ3の目安を上回っている。特定措置区域では、札幌市で新規感染者数、病床使用率、入院率、療養者数がステージ3の目安を上回っている状況。 ● 感染状況の認識等について、有識者や専門家等からは概ね妥当であるとのこと意見をいただいている。その際、「再度の感染の波を小さくするためにも、連休の影響を見るためにも引き続きモニタリングなどの取組は必要」「措置解除後の行動についても、マスクの着用など感染対策を促す必要がある」「三連休の人流増加が緊急事態宣言前の水準を超える地域もあることから、感染のもう一段の減少に向けて対策を徹底してほしい」といったご意見をいただいております、今後の取組の参考としていく。（以上、総政） ○ 全道で感染状況が改善してきており、近く、札幌市においても療養者以外はステージ3の目安を下回る可能性が高い。10月1日以降の対策について、他の都府県の対応や感染状況を注視しながら、検討を進めてほしい。 ○ 一方で、三連休中に主要地点では人流が増加している。ここで警戒感が緩むとリバウンドが生じる恐れもある。9月30日までの緊急事態宣言の下、感染防止行動を徹底し、外出を避けていただくことについて、改めて徹底してほしい。 ○ ワクチンは、発症予防効果や重症化予防効果が期待されているが、打てば大丈夫ということではない。接種した方も引き続き基本的感染防止行動に取り組んでいただくことが重要であり、市町村、関係団体と連携し、あらゆる機会を活用して呼びかけを行ってほしい。 ● 第三者認証については、札幌市内の飲食店を対象に9月1日から試行的に申請を受け付けてきたところであるが、9月24日から本格運用を開始する予定。（経済） ○ これまで飲食店等の第三者認証の試行を進めてきたところであるが、国の基本的対処方針を踏まえ、速やかに開始できるよう、準備してほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>
発言者及び主な発言内容	

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年9月24日（金） 18時20分～18時50分
場 所	議会知事室
出席者	知事、浦本副知事、小玉副知事、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道で新規感染者数をはじめ、全てまん延防止等重点措置の目安となる警戒ステージ3の基準を下回っている状況。札幌市内においても10万人当たりの療養者数のみステージ3の目安を上回る水準となっている。 ● 他の都府県においても感染状況の改善傾向が続いており、まん延防止等重点措置の要請といった動きは見られない。（以上、総政） ○ 10月1日以降の対応については、国において、専門家の意見を踏まえた上で判断されることとなるが、今後の急激な人流の増加を抑え、早期の再拡大を回避していくため、全ての対策を直ちに終了するのではなく、一様ではない道内の感染状況や段階的な緩和の観点等から、必要な対策を講じていくことが重要。こうした点についても国と認識を共有してほしい。 ● 引き続き、道内の感染状況について、事務レベルで国と共有を図りながら、協議を進めていきたい。（総政） ● 第三者認証については、本日から本格運用を開始する。現地確認体制を拡大し、札幌市や委託事業者などとともに、申請いただいた事業者ができるだけ早く認証を取得できるよう、現地確認を進めていく。（経済） ○ 札幌市ともしっかり連携し、できるだけ早く認証していくとともに、制度の全道展開も見据え、適切に対応してほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年9月27日（月） 18時00分～18時30分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、教育長、 総務部長、総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 全道及び札幌市内において、新規感染者数や療養者数、入院患者数等については、まん延防止等重点措置の要請を検討する目安となる警戒ステージ3の基準を全て下回っている状況。 ● こうした状況について国に伝えるとともに、引き続き、地域の感染状況等を踏まえた対策の必要性について国と協議していく。 ● 道としては、全道域で警戒ステージを2に移行するとともに、秋の行楽シーズンを迎えることとなる中で、人の移動の活発化への警戒と感染防止対策を徹底することを検討したい。 ● 現在、特定措置区域としている札幌市内においては、シルバーウィークの影響を見極める必要があること、人の往来が活発であり、これまで本道の感染拡大の中心となってきたことから、今後の急激な人流の増加を抑え、早期の再拡大を回避するため、重点地域として位置付け、2週間程度、不要不急の外出自粛や飲食店の時短の要請などを実施することとしたい。 ● なお、重点地域としての要請は、原則として定めた期限で終了するが、感染の増加が見られる場合には、延長を含め強い措置を講じることを検討したい。 ● 小樽市、旭川市、石狩振興局管内については、段階的な対策の緩和を図る観点から、飲食の場面における感染リスク回避行動の徹底に取り組む方向で検討したい。（以上、総政） <p>○ 明日、開催される予定の政府の基本的対処方針分科会で示される対処方針の改定内容等を確認の上、対策の内容をしっかりと検討してほしい。</p> <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年9月28日(火) 12時10分～12時50分
場 所	議会知事室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総務部長、総政部長、保福部長、コロナ監、経済部長、教育部長 財政局長、政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 今朝開催された国の基本的対処方針分科会において、北海道における緊急事態措置については9月30日をもって終了することとされ、本日夜にも政府対策本部で決定される見込み。 ● 基本的対処方針が改定され、緊急事態措置区域から除外された都道府県においては、飲食店等への営業時間の短縮の要請については、第三者認証等適用店は21時まで、それ以外の店舗は20時までとすることを基本とされた。 ● 酒類提供については、地域の感染状況等に応じて、まん延防止等重点措置区域で適用される措置も参考にしながら、各都道府県が適切に判断することとされた。 ● また、飲食を主として業としている店舗において、カラオケを行う設備を提供している場合は1か月までを目途として、カラオケ設備の利用自粛を要請することとされている。 ● こうした改定内容を踏まえ、全道域では、飲食店の営業時間や酒類提供の制限は行わないこととするが、10月31日までの間、飲食の場面における感染防止対策の徹底を要請することなど検討したい。 ● 札幌市については、「重点地域」として、10月14日までの2週間、感染防止対策の一層の徹底を図ることとしたい。(以上、総政) ● 札幌市内の飲食店については、基本的対処方針の内容等を踏まえ、段階的な緩和を行っていくという観点から、営業時間20時、酒類提供19時半まで、ただし、第三者認証を取得した店舗は営業時間21時、酒類提供20時まで可能とする方向で検討したい。 ● また、カラオケについては、飲食店では利用を行わないこと、それ以外の店舗においては感染対策を徹底する方向で検討したい。 ● 同一グループの同一テーブルへの案内については、原則4人以内としていただくこととしたい。 ● 第三者認証については、9月1日から札幌市内の飲食店を対象に申請受付しているが、多くの飲食店に申請の検討をいただき、できるだけ早く認証申請いただけるよう取り組んでいきたい。(以上、経済) ● 学校については、全道域で、修学旅行などの学校行事は感染リスクの高い活動は慎重に検討するとともに、旅行先の受入の可否を確認の上で実施する。加えて、札幌市内においては、部活動について活動を厳選して実施することとしたい。(教育) ○ 他都府県における要請内容や有識者等のご意見も参考としながら、最終的な要請内容について検討してほしい。 ○ 第三者認証については、本示された基本的対処方針において、認証店での営業時間短縮を緩和する取扱いを示しており、札幌市と連携し、しっかりと進めてほしい。 <p style="text-align: right;">(了)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和3年9月29日（金） 12時05分～12時35分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、小玉副知事、 総政部長、知事室長、保福部長、コロナ監、経済部長、 政策局長、政策局次長、感染症対策局長、経済部次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、「秋の再拡大防止特別対策」 について本部会議において協議することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況 について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 措置の案について、有識者や専門家等からは概ね妥当であるとのことをご意見を いただいている。その他、「宣言終了後も自治体として対策をすることが必要。 今後の感染状況の変化に応じて柔軟かつ機動的に対応してほしい」「全 面解除というアナウンスが強く印象づけられ、人流の増加に拍車をかけるこ とを懸念」「札幌市だけを重点地域として措置することについて明確に説明 することが必要」「感染者数が減少している間に医療提供体制の再整備、保 健所体制の再構築、ワクチン接種体制の充実に取り組むべき」「気の緩みが 生ずることがないように、今回の特別対策の遵守及び日常生活における基本 的な感染防止対策の徹底を会員に対して改めて周知する」といったご意見を いただいております、今後の取組の参考としていく。（総政） ○ 国の専門家からは、秋の行楽シーズンを迎え、普段会わない人との接触機 会が増えることで、感染の再拡大につながる懸念が指摘されている。札幌市 をはじめ、市町村や関係団体との連携の下、今回の対策の必要性について丁 寧に発信し、感染防止対策の徹底を図ってほしい。 ● 技術実証については、国からの内定連絡はまだない状況。近日中に内定を 出す予定との説明があったところ。（経済） ○ 行動制限の緩和に向けた重要な取組となることから、課題の整理など国と 連携を図りながら、しっかりと進めてほしい。 ○ 本道は他県よりも早く冬が来る。国の専門家からは、この冬の再拡大の懸 念も指摘されており、感染者が減少している今こそ、今後を見据えた取組が 重要となる。基本的な感染防止対策を進め、ワクチン接種の一層の進捗、医 療提供体制の更なる充実に取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">（了）</p>

※（知事○、その他●）